

平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成29年1月25日）

協議会議事要点録				
会議名	平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会			
日時	平成29年1月25日（水）13時30分～15時22分			
場所	江田島市役所4階会議室			
傍聴者	3名			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	おかやま まさと 岡山 正人	×
	江田島バス株式会社	代表取締役	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	すぎい くみお 杉井 公美雄	×
	広島県旅客船協会	会長	にった いちろう 仁田 一郎	代理出席 松山 生馬
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	○
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	はまなか しげみ 濱中 繁美	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	ふるもと さねき 古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	なかむら ひろまさ 中村 博政	○
	江田島市女性会連合会	会長	しもだ とよこ 下田 豊子	代理出席 小跡 万知子
	江田島市観光協会	会長	いとう ふみお 伊藤 富美雄	×
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	やない ひろし 柳井 裕志	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	かやはら ひろのり 茅原 裕則	代理出席 赤澤 大
	広島県	地域政策局 地域力創造課長	きむら ひろし 木村 洋	代理出席 藤田 順子
	江田島警察署	地域交通課長	やまぐち きよふみ 山口 清文	○
	江田島市	副市長	どて さんせい 土手 三生	○
	江田島市	企画部長	わたなべ たかひさ 渡辺 高久	○
江田島市	土木建築部長	きむら なるひろ 木村 成弘	○	
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会 長	土手会長あいさつ			

3 議 題	
(1) 報告事項	
① 地域公共交通確保維持改善事業評価について（資料1）	
議 長	最初に（1）の報告事項でございますが、この報告事項の①地域公共交通確保維持改善事業評価につきまして、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	－資料1により説明－
議 長	ただいまの報告につきまして、何か聞いておきたいようなこと等がございましたら、ご発言をお願いします。書面審議にて委員からご指摘をいただき、変更は行っていますが、その他何かございましたら、ご指摘をお願いします。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	ございませんでしょうか。それではただいまの事業評価につきまして、この委員会では了承されたということで、ご理解いただきたいと思えます。
② 公共交通マップの作成（資料2）	
③ 江田島市公共交通機関の運航（行）に関する覚書（資料3）	
議 長	それでは次に、②公共交通マップの作成、それから③江田島市公共交通機関の運航（行）に関する覚書、2つの点に関して、事務局から報告をよろしく申し上げます。
事 務 局	－資料2、3により説明－
議 長	ただいま、資料2、資料3に基づきまして説明していただきました。これにつきまして、何かご質問ないしはご意見ございませんでしょうか。
委 員	資料2の公共交通マップ、こちらに時刻表が載っているのですが、棧橋の名称が違っているのではないかと思います。「中央棧橋」というのが入っているのですが、「中町」ではないかと思うのですが。間違っているのであれば訂正しておいてもらわないと、印刷した後では遅いと思われまますので。
事 務 局	資料はイメージということで捉えてもらうと良いのですが、手直しはしておりますので、修正したいと思います。
議 長	後日また修正したものでご理解いただきたいと思えます。 他に何かございませんでしょうか。
委 員	覚書にタクシーが入っていないのは、何かあるのでしょうか。
事 務 局	船が棧橋に着いて、バスのダイヤがその後すぐに乗られるような格好になっているかというところを考えたための覚書となっております。 タクシーについては常に棧橋に待機しているという状態なので、ここの部分については、タクシーは入れないということで整理をしております。
議 長	つまり、タクシーの場合には常時待機しているので、入れなくても問題はないということですね。よろしゅうございますでしょうか。
委 員	マップの関係ですが、配布場所について、どこまでやるかという、きりがいいところもあるのですが、少なくともちょっと行ってみようかという範囲で、四国とか山陰とか、江田島市に近いような観光地に…。これも銭がいることなので無

平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成29年1月25日）

委員 (続き)	<p>尽蔵に印刷するわけにはいかないでしょうけれども。</p> <p>松山観光港へ行くことがあったのですが、観光港のいろいろ資料を置いているところを見ますと、世羅町など、広島市の市町のいろんなパンフレットが置いてあったのですが、江田島市のものはありませんでした。</p> <p>江田島市も最近新しい観光パンフレットができていますので、ここの目的の一部にもありますように、観光情報という視点からも、どのくらい置けるかということもあるとは思いますが、もし置けるのならあのようなところへ置いてはどうでしょうか。提案ですので、ご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>今年度は部数的に厳しいかなというのがありますが、置けるかどうかというのはまた検討させていただいて、あと松山市については、江田島市のポスターは掲示させていただいております。パンフレットまで置いているかどうかは分からないので、またその辺りは工夫してやりたいと思います。</p>
議長	<p>それでは、よろしく願います。情報は多いに越したことはございませんので、また検討した上で配置可能であればよろしく願います。</p> <p>他に何かございませんでしょうか。</p>
委員	<p>運航（行）に関する覚書は、先ほどの説明にもありましたが、いわゆる公共交通ネットワークの利活用の推進を図るという意味では、非常に大切な取組であろうと思っております。</p> <p>原案を示していただいたときに、旅客船協会としましても、事業者の経営判断の制約等、事業者負担に関する規定などについて、協会から何点か要望なり意見をあげさせていただきまして、それをしっかりと取り入れていただきました。いろいろと考慮していただきまして、お礼申し上げたいと思います。</p> <p>今後運用に当たりまして、事業者負担と利用者利便とのバランスの取れた対応ができるように、よろしく願いたいと思います。</p>
議長	<p>他に何かご意見はございませんでしょうか。</p> <p>それでは報告事項の②と③につきましては、ご了解いただいたということで、取りまとめをさせていただきます。</p>
④ 中町/宇品航路に係る指定管理者のモニタリングについて（資料4）	
議長	<p>続きまして④でございますが、中町/宇品航路に係る指定管理者のモニタリングにつきまして、事務局からご説明よろしく願います。</p>
事務局	<p>－資料4により説明－</p>
議長	<p>ただいま説明の件につきまして、ご意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>このモニタリングを見て、3千何百万かという黒字を出したということですが、指定管理者と市の契約について、私は契約書を見ていないので分かりませんが、この3隻の船のエンジンの検査、ドックですね、このドック費用というのは、市がもっているのでしょうか。</p>
議長	<p>船のドックの費用はどのような形になっているのかということです。</p>
事務局	<p>ドックの費用につきましては、基本的には指定管理者の方でもっていただいております。建物で言いますと、大家さんと実際に借りている人との関係に似てい</p>

平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成29年1月25日）

事務局 (続き)	まして、建物本体が本当にどうしようもない場合につきましては、市で費用を見ます。軽微なもの、使っているときに窓ガラスが割れたとか、車で言いますと車検のような通常かかるものについては、指定管理者で見てくださいという内容になっております。
委員	<p>それでは今言うように、ドックのエンジンの方の検査費用などは、指定管理者の方で見えるわけですね。それならば大したものだと思います、3千万の黒字ということは。燃料がかなり安くなったということはあるのでしょうか、やはり親方日の丸でやるのとはだいぶ違うのだなと思いました。船員も12人から10人に減らしたということで、それから船がドックに入ったときは、その代船が自分のところの船でやったということも書いておりますので、その辺でいろんな違いがあると思います。</p> <p>それからもう1つ、ニュー千鳥、スーパー千鳥、ロイヤル千鳥で、船ができたのがニュー千鳥で平成5年に進水しています。ロイヤル千鳥も平成5年になっていますが、かれこれ23年から24年くらい経っています。この船はどうですかね。耐用年数というのですか、新しい船に替えなければならないというのは、どのくらいを見ているのでしょうか。</p>
事務局	<p>船の耐用年数自体は14年という決まりになっていまして、それは遥かに超えてはいるのですが、指定管理者に5年間出す前に、専門的な機関の方に入っていたいで、この船はまだ使えるかということで見ていただいております。それと、元々の市の船員からも聞き取りをしながら、今もやっております。あと、指定管理者である瀬戸内シーラインからも意見を聴きながら、今すぐ船を更新しなければならないという状態ではないということで、我々はそのように思っています。</p> <p>あとは実際に進水したのが、一番古い船が平成5年ですが、途中でエンジンの換装をやっていることもありまして、この指定管理の期間については大丈夫と、今の段階では市の方では考えております。</p>
委員	5年間は大丈夫ということですね。その先もあると思うのですが、例えば新しい船を造るといった場合は、やはり市が造るということですか。
事務局	今の制度の下であれば、市が船は持つということでやっておりますので、そのようになります。
委員	では、5年過ぎたら、まず新しいのが要るようになるかもしれませんね。
事務局	実際は、今指定管理で5年間やっておりますが、その次の5年間を考えるとときには、その2年前くらいからは検討していかないといけませんので、その段階で船の更新についても当然考えていくようになります。
委員	分かりました。ありがとうございました。
委員	質問ですが、船の燃料の購入先は、市営のときも指定管理者も同じですか、変わっていますか。
事務局	燃料の購入先は変わっています。市営のときは市内の業者から入れておりました。今は瀬戸内シーラインが、それ以外の事業者から購入しております。
委員	瀬戸内シーラインは、10kg以上のタンクは持っているのですか。

平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成29年1月25日）

事務局	宇品にタンクがあります。
委員	安い原因はそこらにあるのでしょうか。
議長	他にいかがでしょうか。よろしゅうございますか。 それでは、中町/宇品航路に係る指定管理者のモニタリングにつきまして、了承されたということで取りまとめさせていただきます。
(2) 協議事項	
① 予約型乗合タクシー「おれんじ号」のダイヤ改正等について（資料5-1～4）	
議長	①の予約型乗合タクシー「おれんじ号」のダイヤ改正等につきまして、事務局からご説明よろしくをお願いします。
事務局	－資料5-1～4により説明－
議長	それではただいま事務局からご説明いただきました件につきまして、ご意見をまわりたいと思います。いかがでございましょうか。
委員	課題としてあげられていた、市役所本庁や大谷病院の移転などに対して、改善されていて、私としては良くできたと思っております。 ひとつだけ説明いただきたいのですが、沖美南部線のダイヤ改正案で、先ほど言われたように、是長口で幹線バスと接続するとなっております。それを見ると、午前中は上下ともあるのですが、午後がこれを見たらあまりないような気がするのですが。午後が4時くらいまでないんですね。その辺りはどのように考えておられるでしょうか。
議長	ただいま、ダイヤのことに关しましてご指摘がございましたけれども、これについて事務局の方で回答をお願いします。
事務局	資料5-1の4ページ目、沖美南部線のダイヤ改正案のところですが、上り3便が13時59分に是長口に入りますが、バスが13時55分に出るようになっております。接続が良くないところなのですが、これは船との関係もございまして、三高棧橋13時20分に到着する船に13時23分に出発する形で接続をしております。お昼の便ですので、この便で帰られる方が今でも結構いらっしゃるということで接続をしています。この後、中町航路にもうまく接続していないのですが、午前中は広島に向かう方の便を優先したい、午後は広島から帰られる方の便を優先したいというところがあり、三高航路の13時20分に到着する便に合わせています。あとは林山上に上がるため運行時間が延びた関係もあり、バスとの接続がうまくいっていないという状況があります。こちらはまたそういった要望が多いようでしたら、見直しの参考にさせていただければと思います。
委員	要望などが出たら、再度検討していただきたいと思います。
議長	ということで、もし要望が出た場合には、さらにそれを加えてご検討していただきたいということでございます。よろしくお願いたします。 他に何かございませんでしょうか。
委員	林山上と言われましたが、今あその区間は通行止めになっているはずですか。どういう認識でしょうか。直る前提ですか。

平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成29年1月25日）

事務局	現在は確かに通行止めになっております。経路としては、上の方へは上がるようになっておりますでしょうか。
委員 (道路管理者)	ご指摘の点は、昨年6月の雨で崩れた箇所です。市道と県道の両方が崩れている箇所です。市道の方はもう工事を発注しまして、復旧しています。県道の方も引き続き復旧工事を発注していると聞いています。目標は年度内に復旧させたいと聞いておりますが、若干発注が遅れた事情があるようですので、その辺で復旧が少し遅れるかもしれませんが、年度末前後には復旧するものと考えています。
議長	ただいま工事の方は着実に進行しているということでございます。 他に何かございませんでしょうか。
委員	おれんじ号の1つを区域運行から定期運行にするということで、補助金を含めいろいろ影響が出てくるころではあるのですが、網形成計画についても若干目標値のことであるとか、補助金の計画本体の方についても目標値の設定など若干微妙かなところが出てくるのですけれども、その辺についてどのようにお考えでしょうか。
事務局	まず地域公共交通網形成計画の目標ですが、状況としまして現在は、おれんじ号運行見直し基準の目標を達成した系統の割合ということで、目標値を75% (3/4系統)、4系統のうち3系統以上で目標達成したいという目標値を掲げております。この分母の4系統の部分が変わるというのがまず1つと、それから今回大須朝夕便が路線定期という形になりますと、それに対しての目標評価指標が出ていないというのも課題になってくると思います。 計画本体の方にも目標で、上下どちらかの稼働率が50%以上という目標と、収支率の目標を掲げています。そちらも目標変更が必要になってくると思います。 今後、広島運輸支局に相談しながら、変更したものを次回の協議会でお示しさせていただきますので、よろしくお願いします。
議長	他に何かご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは①の予約型乗合タクシー「おれんじ号」のダイヤ改正等につきましては、ご了解いただいたということでお願いいたします。
② 路線バスの系統・ダイヤの見直しについて（資料6）	
議長	続いて、②の路線バスの系統・ダイヤの見直しにつきまして、ご説明よろしくお願ひしたいと思います。
委員 (運行事業者)	－運行事業者である江田島バスが、資料6により説明－
議長	ご意見がありましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。
委員	確認ですが、江田島バスの事業計画というのは、公共交通会議を通してずっとやってきた、いわゆる協議事案と呼んでいるのですが、そういうものとしてやってきていなかったような気がしたのですが、どうでしょうか。 協議事案となると、例えばこの場で、停留所の位置を変更するのであればこれが変わるとか、協議運賃であるとかというのを、本来であれば承認を得ておかなければいけないものになってくるのですが。

平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成29年1月25日）

<p>委員 (続き)</p>	<p>多分今は上限運賃でやっていると思うので、通常の（道路）運送法の事案としてやっているのでしょうか。</p>
<p>委員 (運行事業者)</p>	<p>事業計画というのは、市の方へは補助金を頂いている関係もありまして、事業計画は出しておりますが、協議事案としてはやっておりません。</p>
<p>議長</p>	<p>ただ、公共交通協議会でございますので、協議事項にあげていないということについては、これから議論していかなければならないと思います。 他に何かございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今回は江田島バスの路線バスについて、この公共交通協議会の場でいろいろご報告や情報共有していただけるし、例えばこちらで何か決定するというわけではないけれども、必要な情報共有を早い時期から出していただけるということで、すごく意義があるのかなと理解させていただきました。 今回の特に大きなもので、系統の見直しで高田栈橋を発着、起終点をいじられるということで、概ね2km くらい営業キロが伸びるということでよろしいでしょうか。 それが、地域の市役所の本庁舎の移動とか、いろんな情勢を見られて、必要性があるのご判断されてのことだと思っておりますが、走る距離が長いということは、基本的にはかかる経費も増えてくるのではないかという理解しております。 利用されるニーズというか、乗っていただく利用者の方がどれくらいいいそうだとか、そういったところの見込み、収支に与える影響の部分について、まあ大丈夫だろうとか、段々経常収支が悪くなっていずれ見直しをする必要があるかもしれないとか、その辺りはどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>委員 (運行事業者)</p>	<p>見込みとしては、以前の調査では、中町から高田・三高という経路の運行について、一番高いときで100円の売上げを上げるのに2万3千円くらいかかる状況がありました。 ならば、そんなところへなぜ始発着させるのかということになるのですが、公共交通を確保するために策定された江田島市総合計画の精神を汲むといえますか、それと交通空白地帯を極力出さないようにということでの考え方になります。 資料に理由としてあげておりますように、市役所が移転したり、個人の開業医がなくなったりといったことになると、高田地区の方は広島方面あるいは中町か大柿の方へ移動しなければならないということが予測されます。私どもも市から補助金を頂いて運営しているというところもありますので、そういった空白地帯がないようにするというので。 以前も大柿町の深江地区の方へも、そういったようなことで、全くバスが行っていないところへ、見込みもほとんどなかったのですが、住宅などが増えている状況の中でそちらへ延伸するというのも実施してきました。 江田島市全体で見れば、ほとんど運賃収入は見込みにくい状況ではあります。</p>
<p>委員</p>	<p>私は社長にお礼を言いたいという気持ちでおります。と申しますのが、呉市営バスが引き上げ、急遽やるかやらないかということが出発点でした。私はその当時自治会の世話をしていましたが、バスがなくなると大変だということから、と</p>

委員
(続き)

にかく始めてくれと要望しました。

ですから今のバス停は、呉市営バスがやっていたときの、旧町が作ったようなバス停です。今でもバス停に貼ってあるバスの時刻表には、そこにちゃんと色分けして、江田島町・大柿町・能美町・沖美町と、4つの色がついてあるんです。ということは、お金を1円でも高く儲けよとかではなくて、旧町と一緒にあって合併したあとの交通的なものは是非これでやってくださいよということです。始まったのだからあまり不満は言うなというのが、江田島バスの最初でした。

港で我慢して待つというような、実情に合わないことが多々ありました。ここに今出ているように、バス停の呼び方が変わっているのに、そのままにしています。それでいろいろと問題が出ています。ですから、是非それを変えてもらえないかということ、ずっと言っていました。

それでお願いしたいのですが、市が使うような施設の場所をバス停の横にでも書いていただきたいのです。今度配る時刻表と、バス停がこういうふうになりましたというものを書いていただきたい。地域には市外から来られた方がたくさんいるのです。

市内のイベントにしても、宮山か永田になりますが、そこに農村環境改善センターというのがあり、イベントをやるときには全部そこなんです。そこへ「江田島町から車がない人はどうやっていくのか」と言われたとき、「バスに乗って行きなさい」と言うのですが、バスはどこで降りればよいのかというのは、合併したときの状態でしていますから、能美町の旧地名なんかほとんど知らないのです。

もう1つイベントが多いところが沖美ふれあいセンター、ここも沖美ふれあいセンター前とはなっておらず、がんね入口となっていました。その昔、海水浴場だったのです。そのようなことで、地名とバス停とが行政の施設とマッチしていません。

社会福祉協議会もこの農村環境改善センターの前にあるのですが、「社協がどこにあるのか？」と問われたときに、「宮山か永田でバスを降りなさい」と言っても、「それはどこの？」といった感じで、バス停の表示が行政のいろんなものに、住民に障害を与えていることは確かです。今度これがこのまま出るのであれば、もう1つ加えていただきたい。おれんじ号のチラシでは時刻表に病院の名前が書いてありますが、同じように病院の名前を書いてもらいたい。

大君経由のバスで江田島町へ帰るときに、江南のバス停で女性の方が乗られ「どこで降りられるのですか」と聞くと「江田島支所に行きたい」と。そうしたら江田島支所というバス停はないし、どこにも表示がないのです。この方は広島市から転勤してこられて、転居届を出そうと近所の方に聞くと「江南は江田島町だから、江田島支所に出しなさい」と言われたので、バスに乗って行こうとしているとのことでした。電報電話局前のバス停で私と一緒に降りると「支所へはどのようにして行くのか」と言われるので、連れて行ったんです。「あなた、1人で帰ることができますか？」と聞いたら「ちょっと不安です。どこから乗れば良いのですか？」というような状況でした。ですから、是非「支所」とか、公共施設の表示は、バス停の近くに入れてもらえば助かると思います。

<p>委員 (続き)</p>	<p>老人会とか社協へ来る方で「運転免許を返したいと思う」という方が大変多いです。「それは良いことだ、早く返しなさい」と言うと「しかし、相乗りをしなければならない」と言われます。バスに乗って行きたいのだが、よく分からない。大谷病院へ行きたいのだが、どのバスに乗ればよいのかというと、バス停の中に入らないですよ。今の大谷病院ですよ。今度できる大谷病院も、この資料を見ますと、松ヶ鼻はあるが大谷病院というのは今のところないですよ。</p> <p>病院は広島市や呉市に行けば良いではないかと言われますが、ずっと歴史的に病院だけは地元で受けるというのが、今の80代の方たちの大きな考え方です。病院だけは遠くへ行くな、近くで診てもらいなさいと、盛んに言われます。だから、病院の場所だけは、やはり教えておいてほしい。</p> <p>土日に当番医がここですというのが放送されます。大石耳鼻科ですと言われたときに、近所の江田島町の人たちが「大石耳鼻科に行くことができません」と言われました。「車で行けば良いのではないか」と言うと、おじいさんが免許を返したので乗らないとか、そういう問題が本当に出ているんです。</p> <p>地域福祉を推進するのが社協の役目ですが、それ以外のこういう地域の交通まで、我々は話をよく聞きますので、島内の病院にバスで行けるように、是非ご検討いただきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>こういったバス停の名称などを、住民の方々が意見を言われるというのは、公共交通協議会しかないということになるのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートを取りましても、それを書こうかという年代の人ばかりではないんです。私どもが世話をしているのは後期高齢者、それもある程度認知も入っているような方もおられます。それがはっきり言いまして、運転しています。「あなたは早くケアマネジャーに聞いて、介護度を決めてもらいなさい」と言うと、「私はそんなにボケていない」と言うのですが、そういった方たちがブレーキとアクセルを踏み間違える可能性が高い。本人たちも自覚しています。</p> <p>社協では見守りをしなさいということで、「見守りをしてほしいですか？」というアンケートを江田島市全部に取りました。そうしますと、「見守りをしてほしい」というのが圧倒的に多い。嫌だと言う方は、他人に自分の家の中を覗かれるというのが嫌なんです。</p> <p>「免許を返して相乗りしなさい」と言うと、「絶対にしない」と言います。なぜかと言うと、相乗りしたら、事故を起こしたときに、その人が私にも迷惑をかけたと言って、非常に負担に思うと。私が免許を持っていて、「人を乗せてあげる」と言えば、逆に私も事故を起こしかねない立場の者なのだから、それがまた相乗りして、自分1人が死ねばよいのだが、相乗りさせた人にも障害を与えるということになったら、それならしないと。</p> <p>免許を返しても良いと言う人はたくさんいるんです。しかし、相乗りをして、その人たちを免許を持っている人が連れて行くかということ、それは勘弁してくれということがありまして、免許を返せ返せと言いながら、ではそれをどうしていけば良いかということは、我々もはっきりどうこうとは言えませんが、こういう機会に検討いただくことが必要ではないかと思います。</p>

平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成29年1月25日）

議 長	<p>ただいまの委員のご意見について、他の委員でも似たようなご意見をお持ちの方がいらっしゃいましたら、この際でございますので、おっしゃっていただければと思います。よろしいでしょうか。</p>
委 員 (運行事業者)	<p>私が初めて江田島バスへ来たときに、最初にそういったバス停の意見が、いわゆる自治会からあがってきました。</p> <p>もちろん我々も、整合性が取れていない現状がどうでも良いという気はないので、何とか現状にあったものにしたいという気持ちが当然あるのですが、変更する場合、どうしても手続きだとか手間や経費がかかるということがあります。</p> <p>現在倉庫しかないような電報電話局前というバス停を、今回ようやく地名である向側に変えていこうという、まさにその手続きをしようとしている状況です。</p> <p>そういったことで、いろいろ意見をいただけるのはありがたいのですが、すぐには対応しにくいという点もございますので、いろんな立場というか状況をご理解いただければと思います。</p> <p>先ほどご提案いただいた名称を、いわゆる申請書のバス停名という形で出す場合と、そこに関連した名称をいっぱい付けるといって、第1術科学校に九州などからたくさんのご年配の方々が来られる際、第1術科学校と書いていても「兵学校はどこですか？」と尋ねられるものですから、ああいったような部分につきましてはバス停の方へ、申請書へは何種類も書けないものですから、多いところは3つくらい施設名を書かなければならなくなりますので、あそこへ補助的に「兵学校」というのを書いたりしているのですが、それがいろんな法律上どういう問題があるのかは私も良くわかりませんが、そういったようなことで、他の資料で補完しながらの表現で、補助的な連携というような処置ができないかというようなことも考えています。</p>
委 員	<p>資料1にデマンドの地図がありますが、その中には医療施設などが書いてありますよね。このような形でポンポン落としてもらったらどうかということです。</p>
委 員 (運行事業者)	<p>現状の基準では、時刻表や運賃表で、規定の表現を用いなければなりません。</p>
委 員	<p>そういったことを言っているのではありません。デマンドの路線図のようなものを、今度江田島市全部に配りますよね。</p>
委 員 (運行事業者)	<p>デマンドの方ではそういった形ではされるので、今回作成される公共交通マップに補完していくという形で検討していきたいと思います。</p>
委 員	<p>役所に出すような書類をみんなに見せろというのではなくて、こういうマップで各家庭に配れば、みんなはそういうものを見るのですから、こういうポンチ絵のようなものでいいので、その中に江田島支所であれば術科学校前の下の方にありますよとか、そういったことを言っているのです。子育て支援センターへ自衛隊の奥さんが来られるときに、どうやって行けば良いのかと必ず聞くんです。車で行きなさいと言っても、どこが目印になるのかと言われる。バス停の隣だよとか、そういった説明ができるようなものをお願いしたい。</p>
委 員 (運行事業者)	<p>関係方面とそういった方向で調整していきます。</p>

平成28年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成29年1月25日）

議長	<p>そういったことで、変更が可能であればよろしくお願いします。</p> <p>駅名等については、地域外の方も見られるでしょうから、そういった点もご検討よろしくお願いします。</p>
委員	<p>少し前に、バス停の呼称については、運輸局で「バス停の副呼称」ということで、主たる名前と副呼称（利用者が分かりやすい呼称）を併記していこうという取組を、特に紙屋町周辺でやっています。動機というか経緯は違うんですよ。あの辺りは紙屋町という名前が2つも3つもあって分かりにくいということですから、このたびとはきっかけは違いますが、それでいろいろと検討されまして、副呼称をつけて実際に乗りやすいような形になっています。</p> <p>今、社長が言われたように、4条乗合バスということになると、そう簡単にバス停の名前を変えるというのは、なかなか難しいところがあります。これは認可事項か、届出事項になりますので。旅客船の寄港地の名前と違って、バスの場合は、運賃が変わるところは区界運賃など、昔ながらのことがありますので、おそらくそう簡単には変えられないという事情はあるのだらうと思います。バスの中では音声合成表示があります。これもいろいろと変えていかなければならない。</p> <p>少し前に運輸局でやった副呼称の取組は、そういった課題も踏まえて検討されていると思いますので、お尋ねになってみてはいかががかなと思います。</p>
議長	<p>そういったことも含めまして、地域の方々の要望も含めて、許される範囲でございませうけれども、今回名称をされるということがございませうので、そういったことで検討を加えてもらおうということで、よろしくお願いします。</p>
4 その他	
議長	<p>次回の協議会ですが、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>次回につきましては、2月後半くらいで日程調整させていただければと思いますので、また調整させていただいてお知らせします。</p>
議長	<p>ということで、次までには確定したものが、またご議論の上にあがるのではないかと考えております。その節はよろしくお願いします。</p>
5 閉会	
議長	<p>今日は長時間ご議論いただきまして、ありがとうございました。それでは江田島市の公共交通協議会はこれにて終了させていただきます。</p>